

日本工業規格
スプリングピン
Spring Pins

JIS
B 2808—1999
(付属書)

1. 適用範囲 この規格は、一般に使用するスプリングピン(以下、ピンという。)について規定する。

備考 この規格の中で「」を付けて示してある単位及び数値は、国際単位系(SI)によるものであって、参考として併記したものである。

2. 種類 ピンの種類は、板厚の寸法によって表1の2種類に区分する。

表 1

種類	記号
一般用	A
軽荷重用	B

3. 形式 ピンの形式は、端面の面取りによって表2の2形式に区分する。

表 2

形式	記号
両面取り形	W
片面取り形	V

4. 硬さ ピンの硬さは9.1硬さ試験の規定により試験した場合、HRC45～50又はこれに準ずる硬さでなければならない。

なお、ピンには著しい脱炭があってはならない。

5. 二重せん断強さ ピンの二重せん断強さは、9.2二重せん断強さ試験の規定により試験した場合、付表に示す二重せん断荷重以上でなければならない。また、破断のとき、ピンの軸方向の割れを生じてはならない。

6. 形状、寸法 ピンの形式及び寸法は、付表による。

7. 外観 ピンの表面は滑らかで割れがなく、使用上有害なさび、ばり、曲がりなどの欠点があってはならない。

8. 材料 ピンの材料は、原則としてJIS G 3311(みがき特殊帯鋼)のS60CM～S70CM又はSK5Mとする。

9. 試験方法

9.1 硬さ試験 硬さ試験は、JIS Z 2245(ロックウェル硬さ試験方法)又はこれに準ずる方法によって行う。

9.2 二重せん断強さ試験 二重せん断強さ試験は、付属書による。

10. 検査 ピンの検査は、硬さ、二重せん断強さ、形状、寸法及び外観について行い、4～7の規定に適合しなければならない。ただし、ロット検査を行う場合の抜取検査方式は、受渡し当事者間の協定による。

11. 製品の呼び方 ピンの呼び方は、規格番号又は規格名称、呼び径、長さ、種類、形式による。

例:	JIS B 2808	6 × 32	A	W
	スプリングピン	5 × 20	B	V
	(規格番号又は規格名称)	(呼び径)×(長さ)	(種類)	(形式)

12. 表示 包装には、荷札その他適当な方法によって、次の事項を明りょうに表示しなければならない。

- | | | |
|------------|----------|-------------------|
| (1) 名称 | (4) 数量 | (6) 製造業者名又はその登録商標 |
| (2) 種類 | (5) 指定事項 | |
| (3) 呼び径×長さ | (6) 製造番号 | |